

「令和4年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.11)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和4年10月6日～12日（うち、Nさん5日間、Oさん3日間、Pさん1日）

研修先：農事組合法人となん（盛岡市）

■ 研修生について

県外で他業種に従事し、将来、本県への移住と就農を考えているNさんと、農業法人への転職が選択肢にあるというOさん、Pさん。

体験を通して、将来の方向性を決めるうえでの判断材料を得たい！とお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

約900戸の地域農家が設立した日本最大級の集落営農法人です。約980haの農地で、水稲・小麦・大豆・加工用トマト等を栽培。

地域の農業担い手育成として、社員の独立・自営就農に取り組むほか、作業体験やお手伝いの希望者を受入れるなど、農業に興味・関心のある方と地域とのつながり作りを支援しています。

【HP】 <https://tonan-agricoop.jp/>

■ 研修の内容

えだまめの収穫、りんごの葉摘み・収穫、観賞用かぼちゃの磨き作業、米の集荷・集配、就農についてのガイダンス等



■ 研修の感想

・ 離農するりんご農家の園地継承が地域で問題になっているとの説明を受け、実際にその園地で、園主の方と作業をさせていただきました。

就農にあたり“園地継承”や“りんご”はイメージしていませんでしたが、これを機に興味がわきました。（Nさん）

・ 研修先の設立の経緯や取組を伺い、“農事組合法人”としての農業への関わり方を知ることができました。（Oさん）

・ 農業は、作物を育て、販売する、というイメージしかなかったのですが、研修先は、離農する農家への対応、新規就農者の確保といった役割を担っていることを知る良い機会となりました。（Pさん）

■ 今後の目標等

・ 今後も同法人にお手伝いに通い、りんご園地の継承も視野に入れながら、就農・移住について考えていきたいです。（Nさん）

・ 私も、今後もお手伝いに通わせていただきたいので、後日連絡します！（Oさん）

・ 農業法人も視野に入れながら、転職について考えていきたいです。（Pさん）